

2024年4月

## 1. 最近の出来事総集編（2024年3月22日～4月19日）

- 3月22日号：F1のAustralian Grand Prixがメルボルンのアルバートパークで昨日から今週日曜日まで行われます。チケットはAUD149からAUD4,595等となっています。
- 3月29日号：オーストラリアではイースターの為、今日から来週月曜日まで休暇となっています。イースターのある国ではお祝い料理として、ハムやホットクロスバン等、各国色々あると思いますが、ここ、オーストラリアでは何ととっても“エビ”です。ゆで済みの冷たいエビ（いわゆる Prawn cocktail）を食べる、これがオーストラリアのイースターです。
- 4月5日号：4月に入りオーストラリア（VIC及びNSW州）では Day light saving（サマータイム）が今週末に終了し、日本との時差は現在の2時間から1時間に変わります。また、中国とのワイン取引について、2020年後半よりオーストラリアから中国への輸出ワインの中国側における輸入関税が200%を超えるなど、厳しい措置が取られていましたが、3月29日に当該高関税の撤廃を中国政府が発表し、今後は通常の関税率で取引が行われます。なお、オーストラリアからの輸出事業に関連して条件を満たせばオーストラリア政府の補助金を受給できる EDMG という制度もあります。
- 4月12日号：賃貸用集合住宅（Build To Rent）について、コロナ後、留学生やワーキングホリデーの増加も起因して賃貸物件が不足している背景もあり、日系企業含め BTR 投資が増えてきています。オーストラリア政府として 2023年5月9日午後7時30分（AEST）以降に建設が開始される適格新規 BTR プロジェクトに以下の優遇税制の導入を検討しています。
  - ① 減価償却の控除率を年 2.5%から 4%に引上げ
  - ② Managed Investment Trust（MIT）投資の源泉徴収率を 30%から 15%に引下げ

- 4月19日号：Superannuation（退職年金）について、オーストラリアでは年金として給与額に料率をかけた額を Superannuation として雇用者が支払う義務があります。また、当該年金を引き出すタイミングは法律で定められていますが昨日、ATO（オーストラリア国税庁）から早期引き出しについて法律の遵守の Warning が出ています。なお、料率及び退職年金の引出し可能なタイミングは次の通りとなっています。

## 【料率】

2024年6月30日まで	11%
2024年7月1日以降	11.5%
2025年7月1日以降	12%

## 【引き出し可能なタイミング】

### ① オーストラリアに永住組

一般的には 60 歳、または 65 歳（条件有）

ただし、条件を満たせば 60 歳までに引き出すケースも有

### ② 日本等に帰国組（オーストラリアを出国した方）

オーストラリアを出国しビザが無効になっている等の要件を満たす場合

[オーストラリアを離れる際のスーパーアニュエーションの支払 \(Departing Australia superannuation payment \(DASP\)\) | Australian Taxation Office \(ato.gov.au\)](#)

お問い合わせ先

## Fair Consulting Australia Pty Ltd.

Level 31, 120 Collins Street, Melbourne VIC 3000 Australia

Tel : +61 3 9225 5013

Web : <https://www.faircongrp.com/>



讃岐 修治

オーストラリア国公認会計士

E-Mail : [sh.sanuki@faircongrp.com](mailto:sh.sanuki@faircongrp.com)



鳥居 裕司

日本国公認会計士/米国公認会計士

オーストラリア国・ニュージーランド国勅許会計士

E-Mail : [hi.torii@faircongrp.com](mailto:hi.torii@faircongrp.com)

「FCG オーストラリア ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG オーストラリア ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG オーストラリア ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。